

議会だより

2024
8月

福島県中島村議会



令和6年第2回定例会 補正予算・条例 … P2~P3

陳情・行政報告 …………… P4

令和6年第2回臨時会
議会を傍聴してみませんか…………… P5

一般質問（3名）…………… P6~P8

- ・ふるさと納税による寄附増額に向けて ・消防行政について
- ・中島村コミュニティセンターの有効活用について

議会活動
議会の動き・ご長寿さんを訪ねて…………… P9~P10

表紙

位置について、よーい!
(滑津小学校
水泳記録会)



QRコードをスマホなどで読み取り、議会動画がご覧いただけます。

表紙写真を募集しています。
詳細は10ページへ



令和6年第2回議会定例会

コミュニティ助成事業、65歳以上を対象としたコロナワクチン予防接種事業等を可決

◆令和5年度中島村簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告について

報告受理

◆令和5年度中島村繰越明許費繰越計算書の報告について
(役場建設工事に伴う光ファイバ移転工事等3事業)

村長報告

◆令和6年度中島村一般会計補正予算及び公営企業会計補正予算5件の合計10議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案原案のとおり可決されました。

令和6年第2回議会定例会は6月6日から11日までの会期で開かれ、村長から報告3件のほか、承認1件、条例改正4件、令和6年度一般会計補正予算、特別会計補正予算及び公営企業会計補正予算5件の合計10議案が提出され、慎重に審議した結果、全議案原案のとおり可決されました。

(配水管更新事業)
報告受理
◆令和5事業年度白河地方土地開発公社の経営状況報告について

専決処分(※)事項の報告

地方自治法第179条に基づく専決処分について、1件の承認が求められました。

◆令和6年度中島村一般会計補正予算(第1号)

令和6年4月18日専決
既定予算額に2,597万円を追加し、予算総額を40億8,512万円とした。

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した定額減税及び定額減税補足給付金に係る事業を実施するため。

全会一致で承認



※専決処分
せんけつしよばん
条例や予算などは議会が議決をしなければなりません。緊急の場合もありませんが、議会の開会を待たない緊急の場合もあります。そのようなときに村長が議会に代わって決定することをいいます。専決処分をしたことは、次の議会で承認を得なければなりません。

議決された補正予算

◆中島村一般会計補正予算(第2号)
既定予算額に4,922万7千円を追加し、予算総額を41億3,434万7千円とし、原案どおり可決されました。

歳入の主なもの

国庫支出金 480万
1千円、繰入金 3,329
万5千円、諸収入 1,
136万8千円

歳出の主なもの

総務費
自治体情報システム標準化
調査業務委託料 465万
3千円、コミュニティ助成
事業費 340万円

▽コミュニティ助成は、松
崎ふれあいセンターへの工
アコン設置、滑津原行政区
の樽太鼓等購入への助成が
予定されています。

民生費

総合経済対策に基づく給付
事業費 2,051万4千円、
児童手当システム改修費
297万円

衛生費

コロナワクチン接種委託料
1,276万8千円
▽65歳以上を対象とした
医療機関でのコロナワクチ

ン接種費用の一部補助は秋
頃から開始される予定です。

◆国民健康保険特別会計補
正予算(第1号)

歳入の主なもの

国民健康保険税 1,615
万3千円(減額)、国庫支
出金 15万7千円、繰入金
3万3千円、繰越金 1,
589万8千円

歳出の主なもの

国民健康保険事業費納付金
医療給付費分 13万3千
円、後期高齢者支援金等分
12万1千円、介護納付金分
51万円(減額)

◆介護保険特別会計補正
予算(第1号)

歳入歳出 1万6千円
・理由 人件費の精査

◆簡易水道事業会計補正予
算(第1号)

収益的収入及び支出
37万7千円

・理由 人件費の精査

◆農業集落排水処理事業会
計補正予算(第1号)

収益的収入及び支出
1万5千円
・理由 人件費の精査

○補正予算(一般会計及び特別会計)

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	40億8,512万円	4,922万7千円	41億3,434万7千円
国民健康保険特別	5億4,967万2千円	▲6万5千円	5億4,960万7千円
土地造成事業特別	4,284万6千円	0	4,284万6千円
墓地会計特別	358万2千円	0	358万2千円
介護保険特別	5億3,541万7千円	1万6千円	5億3,543万3千円
後期高齢者医療特別	5,628万8千円	0	5,628万8千円

○補正予算(公営企業会計)

会計区分		補正前の額	補正額	補正後の額	
簡易水道事業	収益的	収入	1億5,798万6千円	37万7千円	1億5,836万3千円
		支出	1億5,882万1千円	37万7千円	1億5,919万8千円
	資本的	収入	2,116万5千円	0	2,116万5千円
		支出	5,576万6千円	0	5,576万6千円
農業集落排水 処理事業	収益的	収入	2億7,824万5千円	1万5千円	2億7,826万円
		支出	2億4,845万円	1万5千円	2億4,846万5千円
	資本的	収入	1億8,920万6千円	0	1億8,920万6千円
		支出	2億8,447万円	0	2億8,447万円



議決された条例

◆中島村特別職の職員で非
常勤のもの報酬及び費用
弁償に関する条例の一部を
改正する条例

原案とおり可決

(投票管理者の交替制が可
能となるよう改正を行っ
た。)

◆中島村税条例の一部を改
正する条例

原案とおり可決

(地方税法等の一部を改正
する法律等の施行による改
正を行った。)

◆中島村国民健康保険税
例の一部を改正する条例

原案とおり可決

(国民健康保険法に基づき、
県が示す市町村標準保険料
率に従い税額等の改正を行
った。)

◆中島村農村環境改善センター条例の一部を改正する条例

▼原案どおり可決

(中島村農村環境改善センターのプール施設等を解体したことに伴い所要の改正を行った。)



更地となった村民プール跡地

請願・陳情(※)

◆地方財政の充実・強化を求める意見書提出陳情書

(日本労働組合総連合会福島県連合会白河地区連合会議長 藤田隆司)

◆国の「被災児童生徒就学

支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出を求める陳情書

(福島県教職員組合中央執行委員長 瀬戸禎子)

◆国に対し「学校給食費無償化を実施すること」を求める意見書」提出についての陳情

(福島県学校給食費の無償化を求める会代表 井上裕子・小川憲二)

◆県に対し「学校給食費無償化を実施すること」を求める意見書」提出についての陳情

(福島県学校給食費の無償化を求める会代表 井上裕子・小川憲二)

総務教育常任委員会に付託された陳情4件が審査後、本会議で報告され採択となりました。続いて、委員会より意見書案4件が提出され、全会一致で可決されました。



報告を行う木村秋夫委員長

※請願・陳情

請願とは、村政に関することや国、県の行政機関に要望する制度です。請願の提出には、村議会議員の紹介者1名以上が必要となります。陳情はほぼ請願と同じですが、紹介議員は必要ありません。

行政報告

- ・全村一斉クリーンアップ事業 (4月7日)
- ・小・中学校入学式 (4月8日)

- ・幼稚園入園式 (4月10日)
- ・消防春季連合検閲 (4月21日)
- ・小学校運動会 (5月18日)
- ・交通安全防犯パレード (5月22日)

吉子川小学校鼓笛隊によるパレードが実施されました。



物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

住民税均等割のみ課税世帯への給付及び住民税非課税または住民税均等割のみ

課税世帯の子ども加算の給付を5月末に実施しました。

定額減税

住民税・所得税の事務処理を行っているところです。

工事等の進捗状況

農道長寿命化事業として予定している農道整備については、測量設計業務委託を既に発注しました。役場整備事業外構工事については、入札に向け準備を進めています。その他工事についても順調に推移しています。



役場整備事業外構工事の様子

任期満了に伴い選挙 管理委員・補充員を 選出

選挙管理委員・補充員は、令和6年6月30日に任期満了となることから、6月定例会において、選挙が行われました。選挙は指名推選で行われ、委員4名、補充員4名が選出されました。

委員

小平 幸一（川原田）
長田 春治（吉岡）
有松 正則（滑津原）
小針 一夫（浦原）

補充員

向井 正（岡ノ内）
小針 正弘（松崎）
稲田 喜幸（二子塚）
緑川 雄一郎（元村）



議会を傍聴してみませんか

議会日程を村ホームページ等で
確認する

（開会の約1週間前に公開されます）

傍聴したい日程を確認し、
開会10分前までに
議会事務局へ向かう。

傍聴券に住所・氏名などの必要
事項を記入し、傍聴席に座る。

傍聴が終わったら傍聴券を
議会事務局へ返却する。

傍聴終了。おつかれさまでした

初めて議会傍聴に参加して

松崎サロン代表 宮本 栄子

松崎サロンの11名で傍聴しました。議長の挨拶、村長のお言葉があり、一般質問では、小室重克議員はふるさと納税、椎名議員は先細り傾向の消防団員の確保、災害時の対策についてでした。村長、担当課長の的確な答弁は村政に真剣に取り組んでいる証だと私たちは頷き、聴いていました。この企画をしてよかったです。お世話になった方々に御礼を申し上げます。



6月議会を傍聴する松崎サロンのみなさん

令和6年 第2回臨時会

地方自治法第96条第1項
第5号に基づき、6月27日
の臨時議会に議案として契
約2件が提出されました。

◆中島村役場整備事業外構
工事請負契約の締結につい
て

（役場の外構工事で駐車場
や書庫の整備等を行うも
の）

契約額1億1,220万円
原案とおり可決

◆令和6年度中島村防災
行政無線（同報系）親局設
備高機能化改修業務委託請
負契約の締結について

（役場にある防災無線操作
卓の改修を行うもの）

契約額 8,800万円
原案とおり可決



録画中継はこちら



スマホから見られます

問

ふるさと納税による寄附額増額に向けた村の取組は？



こむろ しげかつ 小室 重克 議員

答

ふるさと納税を取り扱うサイトの拡大、返礼品の充実、返礼品取扱事業者の拡大を計画している。

問

県内59市町村の令和5年度ふるさと納税寄附額速報値が地方紙に掲載され、中島村は前年より増加したものの県内での納税額は下位に低迷しています。

ふるさと納税は、歳入増加、産業活性化、観光促進、雇用、移住、復興、教育支援等、自治体の知名度アップにつながる大きな要素を持っています。ふるさと納税による寄附額増額に向けて、3点を質問します。①県内の村で1億円以上のふるさと納税による返礼品はどのようなものか。②中島村の寄附額の多かった返礼品の内容は。③令和6年度中島村のふるさと納税による寄附額の推進に向けた今後の計画は。

答 村長

本制度について改めて説明すると、過疎や人口減少などにより税収が減少している地域と、都市部との格差縮小のための寄附を目的とし、返礼品の仕組みにより、出身地などゆかりのある市町村の地場産業の支援を図るためのものであります。しかし、現状は、返礼品となる地場産品によつてのみ寄附先となる市町村を選ぶ傾向が強くなり、ふるさと納税を推進する上で大きな課題となつているところです。このような状況から、返礼品基準の厳格化が進み、本村における寄附についても大きな影響を受けています。質問いただいた1点目について、令和5年度は県内3村が1億円以上でありました。そ

一般質問

れぞれ、自然環境や風土を生かした観光、レジャー施設、名産品などがあり、ふるさと納税のPRに有効な資源の活用已成功していると感じているところで

2点目、中島村の寄附額が多かった返礼品についてですが、一番多かった返礼品は牛肉157万6千円(46件)、次に黒鶏肉の加工品30万2千円(24件)、次いで黒鶏の卵22万円(24件)の順となっております。ここ数年を見ても牛肉や黒鶏関係の返礼品が多い傾向にあります。

3点目は、返礼品取扱事業者の拡大で、現在、新たな事業者に取り扱品について打診しているところですが、

3点目、今後の計画について、主に3点計画しております。1つ目は、中島村のPRとして、ふるさと納税を取り扱うサイトをこれまでの4か所から、6か所に拡大し、さらに村ホームページ

中島村ふるさと納税の返礼品♪

● 今月の返礼品人気ランキング

1位	2位	3位
<p>黒鶏の卵30個入り (Mサイズ)</p> 	<p>黒鶏のナゲット1.4kg</p> 	<p>令和5年産コシヒカリ精米約5kg(6kg)</p> 
<p>水野谷鶏卵店は黒鶏(ネラ)の飼育量日本一! 黒鶏の卵は生臭さが無く、深いコクの中にほかに自然の甘みを感じます。卵かけご飯がサイコーです! 直売所にはりピーターの方が多く訪れ、スーパーなどでも大人気です! また、近隣の製菓店でお菓子作りに使われたり、ご当地白河ラーメンのお店で黒卵としても使用されており、個人のお客様だけでなく多くのプロにも選ばれている卵です♪</p>	<p>【2年連続中島村ふるさと納税申込件数上位】 水野谷鶏卵店では、世界的にも評価の高い卵肉兼用種の黒鶏ネラ種のみ飼育しています。そのナゲットは市販の子キンナゲットよりも鶏の味が濃厚で密にたえもっちり! 鶏を丸ごと使っているため、皮も入っていてコリコリ食感も楽しめます♪ おかずにも、お弁当にもおすすめです。ぜひご賞味ください!</p>	<p>【一等米のみ揃えました!】 意外と知られていませんが、福島県は隠れた米どころ! 中島村はほとんど山がなく、開けた土地を活用するため、全国に先駆けて田んぼの区画整理を行い、稲作が村の一大基幹産業となっています。日本で最も遊泳米の銘柄「コシヒカリ」を、中島村とその近隣の地域(しらかわ地域)で生産された「白河の米」としてお送りします。</p>

村ホームページでの返礼品PRの様子



いいな やすお 椎名 康夫 議員

問

消防団の組織を継続していくために村はどのように取り組んでいくのか？

答

消防団OBの活用など、消防団と協議、検討を行いながら対策を進めている。

問

地域における消火活動、災害時の対応や救助活動、夜間のパトロールなど、地域の守り手として大変重要な存在であるのが消防団であります。

この組織を維持していくために、村はどのように取り組んでいくのか、現状をどう捉えているのか、以下の3点について質問します。

①消防団を将来にわたり持続させるためにも、若手の団員確保は最重要課題となりますが、村はどのように考えているのか。
②現在、2分団10部、本部25名、計201名で団を構成していますが、人員確保は大変厳しい状況にあります。各部の定数見直しを考える時期にあると思いますが、どのように考えているのでしょうか。

るでしょうか。また、条例で定員が201名と定められていますが、この数字の根拠はどこからきているのでしょうか。

③今年の春、毎年恒例であった河川敷や幹線水路等の野火焼きが一部を除いて中止となつてしまいました。来年度以降についてどのように考えているのでしょうか。

答
村長

1 点目についてですが、団員確保についての活動は、消防団の各部にお願いをしている状況にあります。また、村の取組として、消防団員の報酬等の見直しなどを行い、処遇改善に努めているところでもあります。

しかし、人口減少に加え、一般に若年層の

価値観が変化し、新規入団する若者が減少し続けていると言われており、本村の消防団においても、近年同じ状況となつております。

消防団員の確保に当たっては、時代に即して、若年層が参加しやすいものに変化していく必要があると考えております。今後は、消防団確保において、時代に合った取組を行っている自治体を参考に、対策などを検討していきたいと考えております。

2 点目、現在の定数201名については、平成9年に村消防団の分団数7分団を2分団に再編成した際に定めておりますが、平成9年当時の改正資料が残っており、当時の在籍団員数を定数としたのではないかと推測すると

価値観が変化し、新規入団する若者が減少し続けていると言われており、本村の消防団においても、近年同じ状況となつております。消防団員の確保に当たっては、時代に即して、若年層が参加しやすいものに変化していく必要があると考えております。今後は、消防団確保において、時代に合った取組を行っている自治体を参考に、対策などを検討していきたいと考えております。

ところです。

今後、定数見直しを行う際は、村消防団と協議検討を行い、本村に合った定数を定めたいと考えております。

3 点目について、消防団が主体となつて行つていた野焼きは、枯れ草火災を未然に防止するために行つていたところであり、今年については、個人が火入れしたのが原因と思われる住宅の一部火災及び野火火災が同日に発生したことを受け、消防団主体の野焼きを中止したところです。

来年以降の野焼きの実施については、各行政区が主体で火入れを行い、消防団は延焼防止に努めて実施できないか、各行政区長にお願いしたところです。各行政区から回答いただいた後、消防団と各行政区で協議を行い、実施箇所を決定していきたいと考えております。

問

若年層の消防団員というのはどこをターゲットにすることを想定しているのでしょうか。

答
村長

学校を卒業して地域におられる方等を中心に、性別に関係なくお願いすることも今後検討する必要があると思つております。





問

童里夢公園内にある中島村コミュニティセンターの活用状況は？



ふじた 利春 議員

答

役場庁舎建築工事に伴い、現在は倉庫として利用している。貴重なご意見を寄せていただくことでよりよい活用方法を検討していきたい。

問

童里夢公園内にある村のコミュニティセンターは、平成10年3月に設置目的が条例で定められ、地域防

災の推進と地域農業の振興を図るための拠点として作られました。条例第3条では活用する目的として、防災に関すること、地域住民の交流に関すること、都市と農村の交流に関すること、集落農園の利用促進に関すること、その他村長が必要であると認められた事業とあります。このような状況を踏まえ、次の3点について伺います。

- ①現在どのようなように利用されているのか。
- ②条例の中身を考えながら、今後の活用について村はどのように考えているのか。

一般質問

③生涯学習センター輝ら里で展示されているような村民の民芸品、村民の各種工作物の展示場所として活用し、交流の場としてどうかと考えるが、村はどのように考えているのか。

答 村長

1点目の現在の利用状況についてであります。役場庁舎建築工事に伴い、コミュニティセンターの事務室及び研修室等に各関係課の書類等を一時保管し、現在は倉庫として利用しております。また、建設関係の工事設計書や図面等が多く保管されていることから、校外学習等を除き、一般の方々の利用は控えさせていただきます。状況であります。

2点目の今後の活用についてですが、今年

度の役場整備事業外構工事において、書庫を建設予定であり、完成後、書類等を移動し、施設は使用前の状態に戻す予定です。その後の活用については、本施設は補助事業を活用し建設した施設でありますので、施設の設定管理等については、地方自治法により条例で定めております。この条項中に、利用する業務について規定されており、その目的に合った内容に沿って、今後も利用推進を図ってまいります。

3点目については、過去に、幾度となく本施設に関するご質問をいただいております。その中で、利用率を上げる方法として、村民の方からのアイデアや、議員の方々からもご提案があれば、村も積極的に考えていきたいと申し上げてきた



◀中島村コミュニティセンター

ところであり、今回の施設の具体的な利用方法の提案は、これからの施設の有効利用ができるような参考例として捉えさせていただきます。今後、このような貴重なご意見を寄せていただくことで、コミュニティセンターのよりよい活用方法を、



▶輝ら里での展示の様子

多くの皆様のご意見も参考にさせていただきながら、利用率の向上につながるように検討してまいります。



議会活動

特別功労者表彰

藤田利春議員は、村議会議員として20年以上在職され、功労があったことにより福島県町村議会議長会から特別功労者として表彰されました。



令和6年度町村議会広報研修会

7月2日福島市とうほう・みんなの文化センターにおいて、町村議会広報研修会が行われました。

研修会では、「議会の『見える化』&住民との『信頼関係』—議会広報の基本と編集—」と題し、議会広

報サポーターの芳野政明氏の講義を受けました。これからも住民にとって、見やすい・伝わりやすい議会だよりとなるように取り組んでまいります。



鳥取県三朝町 行政視察訪問

7月18日に鳥取県三朝町議会の総務教育常任委員6名が本村の防災アプリや児童館の学習支援、学校給食費無料化事業について視察に訪れました。

研修では、各担当課から事業の説明が行われた後、児童館輝らキッズにおいて、児童クラブ室や遊戯室・学習室などの視察を行いました。



令和5年度決算審査

7月31日から3日間、令和5年度の歳入歳出決算・基金の運用状況審査を実施し、帳簿関係書類調査、現地調査などが行われました。審査結果の説明は9月定例会に行われます。



ご存じですか？
議会の映像をインターネットから見られます！

議会の様子はスマホやタブレット、パソコンから動画（録画）を見ることが出来ます。「中島村 議会中継」と検索すると村ホームページから録画中継のサイトを開くことができます。

また、議会だよりの一般質問のページにあるQRコードをスマホのカメラで読み込むとすぐに動画を見るページが開くことができます。ですのでお試しください。



3月	25日	例月出納検査
	1日	辞令交付式
	7日	全村一斉クリーンアップ事業
	8日	小学校・中学校入学式
4月	8日	広報編集委員会
	10日	幼稚園入園式
	11日	老人クラブ連合会総会
	21日	白河支部春季連合検閲
	25日	例月出納検査
	29日	小室信一氏旭日雙光章受章祝賀会
5月	30日	中島村国際交流協会総会
	15日	中島村商工会総会
	18日	小学校運動会
	21日	全国町村議会議長・副議長研修会
	22日	交通安全・防犯パレード
	23日	地方植樹祭
	24日	例月出納検査
	27日	令和6年第2回白河地方広域市町村圏整備組合議会臨時会
	27日	社会福祉協議会理事会
	30日	議会運営委員会
6月	3日	令和6年度福島県町村議会議長会定期総会
	6日	令和6年第2回定例会（～11日）
	26日	例月出納検査
	27日	令和6年第2回臨時会
7月	2日	町村議会広報研修会
	14日	福島県消防協会白河支部幹部大会
	18日	鳥取県三朝町総務教育常任委員会行政視察
	19日	中島村商工会企業連絡協議会通常総会
	24日	例月出納検査
	26日	県南地方町村議会議長会研修会
31日	決算審査（～2日）	

第3回

ご長寿さんを訪ねて



畠山 ヒサ子さん・畠山 実さん
 昭和8年4月生 昭和10年2月生
 （滑津原）

今回はご夫婦で登場して頂きました。趣味は2人で旅行される事です。国内はもとより、アメリカ、中国、フランスなど多くの国々を訪問されて、その数、20数ヶ国に及ぶそうです。居間の壁には思い出の写真が沢山飾られています。

もうひとつの趣味はカラオケです。お二人共自慢の喉をお持ちです。秋に行われる村の芸能発表会では、実行委員長として会を運営され、尚且つマイクを握り一曲披露される姿は、皆さんも目にしている事と思います。旅行もカラオケも「健康であればこそ」と。年齢に応じた健康維持法があると仰ってました。

村への要望として、村内各地区にある“サロン”の充実と支援、村文化団体の活性化、発展充実に力を入れてほしい等のご意見をいただきました。

みんなが人生をいかに豊かに暮らせるか、気配りされている畠山さんご夫妻は、素晴らしいご長寿さんでした。（椎名、小林）

編集後記

鮮やかな緑の田園風景の広がる中、中体連県南地区大会が開催され、出場した選手の活躍に感動しました。7月下旬に開催された県大会では、男子バレーボールが第3位を勝ち取り、東北大会に進出されました。勝つ喜び、負けた悔しさは一生の思い出に成ることでしょう。

7月3日から新しい紙幣が20年ぶりに発行されました。野口博士の千円札がなくなる事に一抹の寂しさを感じます。

連日暑い日が続いています。村民の皆様におかれましては熱中症対策をしてお過ごしください。（向井）



「なかじま議会だより」表紙写真を募集します。ご応募お待ちしております。

■募集写真

中島村内で撮影されたカラー写真（デジタルデータ）

■応募資格

中島村内在住・在勤・在学の方

■応募方法

氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所、撮影日時を記載し、議会事務局へ電子メールか、直接電子データをお持ちください。

■締切日

11月号
令和6年10月4日(金)

2月号

令和7年1月8日(水)

5月号

令和7年3月28日(金)

■選考方法

編集委員会で選考の上、採用写真を決定します。採用された方に粗品を差し上げます。詳細は村議会ホームページをご覧ください。

発行 中島村議会

〒961-0192 福島県西白河郡中島村大字滑津字中島西11-1
 電話 0248-52-3486

議会だよりへのご意見をお寄せください。

FAX 0248-52-2449
 メール gikai@vill-nakajima.jp
 （議会事務局宛）

